

## 第 12 回 CD ショップ大賞 2020 ご挨拶

CD ショップ大賞を楽しみにしている音楽ファンの皆さま、いつも CD ショップをご利用いただき、音楽を楽しんでいただき、ありがとうございます。

そして、CD ショップ勤務のスタッフや関係者の皆さん、CD ショップ大賞への投票や運営へのご協力をいつもありがとうございます。

本年は、ご存知の通り、新型コロナウイルスの感染予防対策として政府や各自治体からイベントの中止要請がされております。それに伴い、第 12 回 CD ショップ大賞 2020 につきましても、感染拡大防止の観点から、授賞式を取りやめることになりました。残念な判断ではありますが、皆さま、どうぞご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

さて、今回で 12 回目を迎えました CD ショップ大賞。昨年大賞「赤」を受賞した星野さんは今やすっかり国民的知名度のあるアーティストになられ、大賞「青」に選ばれた折坂悠太さんも、ドラマ主題歌に抜擢されるなど、活動の幅をいっそう大きく広げられております。

CD ショップ大賞がスタートした頃に比べ、選出作品が、「もうすでに売れてるのでは？」という声をいただくこともあります。しかし、売場にいると、(CD という)パッケージを持っていらっしやらない方もまだまだ多く、毎年各賞発表後、その情報をもとに、取り上げられたアーティストの作品を購入される方が多数いらっしやいます。そんな方へのきっかけに CD ショップ大賞がなっていると実感できる嬉しい瞬間です。

以前は、CD といえば音楽を聴くためのツールでしたが、今は配信など様々なスタイルが選べることにより、CD 自体「ALBUM」と呼ばれている通り、写真のアルバムを見るように、音を聴いて、ジャケットを見て、あの頃はこうだったなあと思いを馳せる本来のアルバムという言葉の由来であるように、手元に残しておきたい、まさに眼で見る「ALBUM」としても存在しているのではと思います。

今回も大賞はもちろん、入賞した作品、入賞に至らなかったけれど素晴らしい作品がたくさんありました。第 1 回からのテーマである、この賞をきっかけに本当にオススメしたい、ネクストブレイクを作品をピックアップする。という主旨は変わりません。

しかし、長く活動しているミュージシャンも含め、素晴らしい作品がたくさんある。もっともっと自分たちの手で全国の皆さま隅々にまで届けたい！そんなショップ店員の気持ちを汲み取り、赤と青の2つの顔を持つ大賞が昨年から生まれました。

今回も手元に残したい素晴らしい作品が多数選出されております。全国のCDショップ店員一同、全国の音楽ファンの皆さまに作品の魅力が伝わるよう、きっかけ作りに日々励んでまいります。

そしてライブ活動自粛を余儀なくされているアーティスト様や関係者様の活力のきっかけとなるよう、これを機に売場から再発信し、さらに音楽業界が元気になれば幸いです。長くなりましたが、以上をもちましてご挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、授賞式は中止となりましたが、大賞・入賞アーティスト様のご協力を得て、3/18(水)に受賞番組としてYouTubeにて受賞番組を配信することになりました。皆さま、どうぞお楽しみに！

CD ショップ大賞実行委員長

仲西正代(銀座山野楽器 ミウヰ橋本店 店長)